

# ふたりのコラム

July, 16, 2021

認定こども園あかみ幼稚園 園長 中田幸子  
認定こども園メイプルキッズ 施設長 新井利枝

《3・4・5歳児》

## 水遊び 気持ちいいね！！

本日は、1学期の終業式でした。明日から、1号認定の子どもたちは、夏休みに入ります。2号認定の子どもたちは、バンビーニでの生活となります。クラスの仲間がみんなそろっての生活は、しばらくお休みですね。これから暑さも厳しくなりますので、休息、水分補給、睡眠をしっかりとって、過ごしましょう。

おうちでも、水遊びを楽しむ機会も増えることでしょう。

1学期、園では、プール以外でもたくさん水遊びをしました。水に触れることで、冷たさ、水の反射、気持ちよさや、ふしぎさ、美しさなどをたくさん感じ、五感が研ぎ澄まされていきます。それは、情操をはぐくむだけではなく情報を収集する力にもつながるともいわれています。一番は、涼しくて気持ちいい！！が夏には必須アイテムですね。



5歳児



4歳児



3歳児

## 佐野市 子ども・子育てフォーラム開催



このフォーラムは、2021年10月24・25日に開催されます。

先月号でも少しお知らせしましたが、8月24日（火）「佐野市子ども・子育て市民フォーラム」として、あかみ幼稚園5歳児クラスのオンライン公開保育が行われます。また、10月には、「佐野市子ども・子育て国際フォーラム」が行われ、こちらもあかみ幼稚園が公開保育会場園となります。今回担当園となることで、年長組の保育者を中心として、Agency※の勉強会に参加したり、さらなる保育の質の向上を目指して、保育の映像記録をもとに東洋大学の高橋先生と、勉強会を繰り返しています。公開保育開催園というチャンスを保育のさらなる向上へとつなげていきたいと思ひます。

さて、Agencyとは・・・

主体的に社会とかかわり、自ら変革しようとする力…OECD Education 2030 の中でのキーワードです。これは、VUCAな時代をWell-beingに生きるために大切にされるべきことです。VUCAな時代とは、昨年度7月号でも少し触れましたが、不安定・不確実・複雑・曖昧の頭文字をとったものです。今もまさにそうですが、これからますます加速して、先が読めないことがたくさん押し寄せてくるでしょう。子どもたちが生きていく時代は、今ある職業がなくなり、新たな職業が生まれ、今では想像のつかないようなことが起こるといわれています。そのような、決まった答えがない時代を生きる子どもたちは、その時ある情報を集め、たくさんある情報の中から、自分で正しいと思う情報を有効に使い、自分で答えを見出していかななくてはなりません。今起きている、コロナ禍をイメージしてもらおうとわかりやすいと思ひます。正解は一つではないのです。

## Well-being に生きる…とは。

これも、昨年8月号で少し触れていますが、「身体的・精神的・社会的に良好な状態になること」であり、Happinessとは異なり、その瞬間が幸せなのではなく、持続的に幸せな状態を言います。そして、自分自身が、幸せであると感じることが重要です。

このように **VUCA な時代を Well-being に生きるために、Agency が大切**なのですね。これは、冒頭でも申し上げましたが、OECD Education 2030 からの視点です。日本でも同じように、文部科学省から「**主体的・対話的で深い学び**」がキーワードとして、挙げられています。これは、幼児期から高等学校までの共通の視点です。もちろん、学び方は異なり、幼児期の学びは遊びにあり、その評価は、方向目標であり、小学校以降のような到達目標ではありません。日本でも、世界的にも今まで以上に、主体的な子ども（→人）が求められる時代となってきているということですね。

## たくさん遊んで、たくさん食べて、しっかり寝ようね！

先日保護者の方から園の昼食はおいしく、よく食べるっていると聞くので、レシピを教えてください、との依頼があり、レシピHP（トピックス）に載せました。試してみてください。

さて、たくさん体と頭を使っていっぱい遊び、おなかをすかせて、体に良いものをたくさん食べて、しっかり眠り基本的な生活習慣を整えたいものですね。厚生労働省からの資料を添付しましたので、参考にしてみてください。（文責：中田）

小児の睡眠不足や睡眠障害が持続すると、肥満や生活習慣病（糖尿病・高血圧）、うつ病などの発症率を高めたり症状を増悪させたりする危で険性があります。適切に対処していくには「早起き・早寝」という基本的な生活習慣から見直す必要があります。（中略）

「早寝・早起き」ではなく「早起き・早寝」から始めましょう。まず1週間、頑張って早起きをさせましょう。そして歯磨きでもしながらベランダに出て日光を浴びる。それが無理なら窓辺で顔を戸外に向けるのでも結構です（室内方向を見てしまうと体内時計の時刻合わせには不十分です）。1~2週間ほども続けると子どもたちの体内時計は徐々に朝型に変わり、早起きの辛さは減ってきます。早起きさせた分の睡眠時間は早寝になった分取り返せるでしょう。早起きから始めることで、太陽と朝食を効果的に使って体内時計の時刻合わせを行うわけです。ただくれぐれも週末の寝坊には注意してください。お昼近くまで寝坊してしまうと体内時計が一気に遅れ、1週間分の苦勞は水の泡になってしまいます。



## 《0・1・2歳児》

豪雨による災害があちこちで起こっており、心を痛めています。一日も早い復興をお祈りしたいと思います。

佐野近辺でも毎日のように午後になると雷注意報が発令されるなど、心配になってしまいますね。天気予報では、しばらく晴れマークが続いています。そろそろ梅雨明けでしょうか？

さて、4月に新年度がスタートし3か月が過ぎました。新学期始めのうちは泣いていた子も、今ではすっかり園生活にも慣れ、毎日元気に過ごしています。メイプルキッズは0～2歳児の子たちなので、ほんの数か月でも、その成長ぶりは凄まじいものがあります。

0歳児クラスでは、はいはいができるようになったり、一人で歩けるようになったり、1歳児クラスでは、「せんせい」や「あっちいきたい」などお話が上手になってきた子も・・・2歳児クラスでは、一人で靴下や靴が履けるようになったり、トイレでおしっこができるようになったり etc・・・。一人ひとり、この数か月でぐーんと大きくなっています。もちろん体もそうですが、心も頭も、毎日成長しているのです。



1歳児クラスで子どもたちが玩具で遊んでいた時のこと、A君がブロックをつなげて楽しんでいました。近くにいたB君がそのブロックに触れようとしたところ、A君がすごい剣幕で「ぼくの！」と引っ張りました。B君はちょっとびっくりしたようですが、近くにいた保育者が「B君も使いたかったんだね、こっちにもあるよ」と別のブロックを渡したところ、納得して遊びだしていました。A君は、自分が使っていたブロックを抱えてその様子を見ていました。



これは、この時期の子どもたちによく見られる光景です。ただの玩具の取り合いにも見えますが、子どもたちの自我が芽生えてきている様子がわかります。

自我意識（自分に対する意識）はどのくらい出てくると思いますか？

心理学的には鏡の中の自分を認知できるか否かを調べるミラー（ルーージュ）テストなどが有名です。小さい子の鼻にこっそり口紅などを付け、その後鏡を見せて子どもの反応を見るそうです。鏡を見て、自分の姿を認識し、鼻を拭こうとしたり、口紅を取ろうとする場合は、自我が芽生えているとされるそうです。実験の結果では、1歳以下の子どもは、まるで他人を見るように自分の鼻には無反応で、1歳2か月から1歳6か月が2割、2歳前後で7割が自分の姿を認識できるという結果があるそうです。よって、2歳前後が自我の芽生える時期と考えられているようです。自我意識は、生まれた時から確立されているものではなく、成長の過程で形成されていくのですね。

確かに、つくし組の子は鏡に映る自分を見ても不思議そうにしていたり、手を伸ばして触ろうとしたりしています。

まだ、自我が確立されていないのですね。

自我の芽生えは、今後自分と他者を区別し、自分の思いを周りの人に伝えるという自己主張への第一歩ともいえるでしょう。

成長するにつれ「いや！」という言葉が聞かれるようになってきます。これも成長の証！！他者がいるからこそ、自分を知るのです。そう考えると、やはり、今この時期の「人」とのかかわりは大切にしていきたいですね。



年少組のある男の子・・・、テラスで会うと、「あっ、先生バイバイ」と声を掛けてくれていました。私も顔を見かけたときには、声を掛けたりしていたのですが、つい最近ただの「先生」から「りえ先生」に変わっていたのです。「りえ先生、おはよう」と声を掛けてくれたり、テラスですれ違う時にも「りえ先生」といつも声を掛けてくれます。私が「りえ先生って名前覚えてくれたんだね、嬉しいよ」と声を掛けると、ニコニコしていました。沢山いる先生の中で私のことを認識してくれているんだなとうれしい気持ちになってしまいました。先日その子のママに、そのことを伝えると、「ちゃんと挨拶できているんですか？」とびっくりされていました。こんな風にお家の方と子どもの成長を喜びあえるのが、何よりうれしいです。

（文責：新井）